

長崎造船所立神第1ドック

立神第1ドックは1870年に長崎製鉄所長の平野富次郎(富二)により建設着工されたが、翌年に工部省所管の長崎造船局となり平野が辞職したため工事が中断。

1874年、フランス人技師ワンサン・フロラン指導のもとで工事を再開し1879年に竣工。長さ140m、7000トンの船が修理可能な東洋で最大規模のドックであった。

長崎造船局は1884年に岩崎彌太郎率いる三菱に経営が引き継がれ、長崎造船所と改称している。



↑ 風頭山からみた長崎港
Collection Christian POLAK



↑ 長崎造船所立神第1ドック
長崎大学附属図書館蔵



↑ 長崎造船所立神ドックの外国人宿舎
長崎大学附属図書館蔵